

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【話し手の意図を聞き取る問題】

- 1 よう子さんの学校では、社会科の時間に農家の山田さんをおよびして、農家の仕事について話を聞きました。山田さんの話の中で、一番言いたかったことはどんなことですか。最もふさわしいものを一つ選んで番号を書きましょう。

レベル5・6

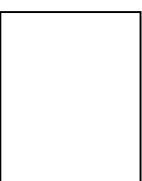
山田さんの話

わたしの畑では、春と秋の年に二回かぶを作っています。たねをまく前に、トラクターを使って畑の土をやわらかくたがやします。そのときに、ひりょうをまいて、えいようがたつぷり入った土を作ります。これは、おいしい野菜を作るためにも大切なことなのです。

たねは、たねまききという道具を使つてまきます。この道具を使うと速く、まっすぐきれいにまくことができます。葉が育ってきたら、病気や虫をふせぐために、うすめた薬をまきます。薬をうすめるのは、なぜだか分かりますか。安全な野菜を作るためです。

四十日ほどかぶは育ち、しゅうかくできます。しゅうかくしたかぶは、きれいに洗い、テープでまどめ、ダンボールにつめます。みなさんに安全でおいしい野菜をとどけるため、いっしょうけんめい育てています。みなさん、野菜をのこさず食べてくださいね。

- 1 すききらいをせず、やさいをできるだけ食べてほしいということ。
- 2 たねまききを使うと、速くまっすぐにたねをまくことができること。
- 3 えいようがたつぷり入った、やわらかい土を作ることがとても大切なこと。
- 4 安全でおいしい野菜を作るために、いっしょうけんめい育てていること。



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

1 次の文を読んで、あとの問いに答えましょう。

レベル6・7

たろうさんが、スーパーマーケットの店長さんにインタビューしています。

たろう 「こんにちは。ぼくは、みどり小学校の山田たろうです。きょうは、店長さんにスーパーマーケットではたらいている人たちのことを聞きに来ました。よろしくおねがいします。はじめに、ここではたらいている人は、

A

店長 「売り場で、はたらいている人がやく三十人、売り場いがいでは、やく五十人、全部でやく八十人です。」

たろう 「わあ、そんなにたくさんいるのですか。売り場ではたらいている人は、

B

店長 「品物をはこんでならべたり、レジをしたり、お客さんをあんないしたりしています。」

たろう 「いろいろな仕事があるのですね。さいごに、お客さんがたくさん来てくれるように、くふうしていることは何ですか。」

店長 「お客さんが買いやすいように、色どりを考えてきれいにならべたり、チラシを入れてとく売をしたり、品物の場所を表すかんばんをつけたりしています。」

たろう 「たくさんのかぶうがあることがわかりました。ありがとうございました。」

たろうさんは、店長さんにどんなことを聞いていますか。
にあてはまる、みちこさんが言った言葉を書きましょう。

A

B

A 「はじめに、ここではたらいっている人は、

」。

B 「売り場ではたらいっている人は、

」。

復習シート 第四学年 国語



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

1 次のA～Dの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

A
スーパーマーケットに着くとお店の人が店の中を案内してくれました。店の中にはたくさん品物がありました。品物は、きれいにさらばられていた。

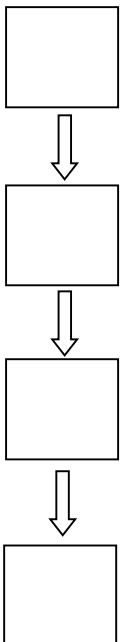
B
見学をして、スーパーマーケットで働く人は、お客さんの事を考えて、いろいろな工夫をしているのだなと思いました。

C
わたしは、社会の学習でスーパーマーケットに見学に行きました。スーパーマーケットでは、どことなくふうをしているのか調べるためです。

D
お店の人が、お客さんが取りやすいように品物を工夫してならべていることを教えてくれました。他にもお客さんが買い物をしやすいようにいろいろな工夫をしていること教えてくれました。

【文の順番をならべかえて、話の内容を組み立てる問題】

(1) AからDをお話が続くように順番をならべかえましょう。



【文章の文末表現から、敬体、常体の不統一という間違いを正し、よりよい表現に書き直す問題】

(2) ———線部を他の文の表現に合わせて、正しく書きかえましょう。

レベル4・



レベル6・7



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

1 次のA～Dの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

A
それは、おばあちゃんが、わたしたちのために用意しておいてくれたものだ。おばあちゃんといっしょに食べたケーキは、あまくてとてもおいしかった。

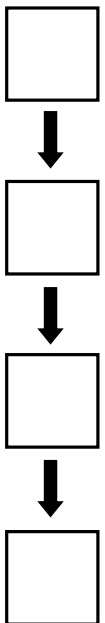
B
先週の日曜日に、わたしと弟は、二人でおばあちゃんの家に遊びに行った。

C
わたしと弟は、十分くらい歩いて、おばあちゃんの家に着きました。げんかんの前でおばあちゃんがまっついていてくれた。

D
おばあちゃんといっしょに家の中に入ると、テーブルの上においしそうなケーキがおいであるのが目に飛びこんできた。

【文の順番をならべかえて、話の内容を組み立てる問題】レベル4・5

(1) A～Dをお話が続くように順番をならべかえましょう。



【文章の文末表現から、敬体、常体を統一し、より良い表現に書き直す問題】

(2) ——— 線部を他の文の表現に合わせて、正しく書きかえましょう。

レベル6・7



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

二ひきの馬が、まどのところでぐうるぐうるどひるねをしていました。

すると、すずしい風がでてきたので、一ぴきが①くしゃめをしてめをさましました。

ところが、あとあしがいつぽんしびれていたの、よろよろとよろけてしまいました。

「おやおや。」

そのあしに力をいれようとしても、さっぱりはいりません。

そこでもだちの馬をゆりおこしました。

「たいへんだ、あとあしをいっぽん、だれかにぬすまれてしまった。」

「だって、ちゃんといてるじゃないか。」

「いやこれはちがう。だれかのあしだ。」

「どうして。」

「ぼくの思うままに歩かないもの。ちよつとこのあしをけとばしてくれ。」

そこで、ともだちの馬は、ひづめでそのあしをぽんとけとばしました。

「やっぱりこれはぼくのじゃない、いたくないもの。ぼくのあしならいたはずだ。よ

し、はやく、ぬすまれたあしをみつけてこよう。」

そこで、その馬はよろよろと歩いてゆきました。

「やア、いすがある。いすがぼくのあしをぬすんだのかもしれない。よし、けとばしてや

ろう、ぼくのあしならいたはずだ。」

馬はかたあしで、いすのあしをけとばしました。

いすは、いたいとも、なんともいわないで、こわれてしまいました。

馬は、テーブルのあしや、ベッドのあしを、ぼんぼんけつてまわりました。けれど、ど

れもいたいといわなくて、こわれてしまいました。

いくらさがしてもぬすまれたあしはありません。

「ひよつとしたら、あいつがとつたのかもしれない。」

と馬は思いました。

そこで、馬はともだちの馬のところへかえつてきました。そして、すきを見て、ともだちのあとあしをぽんとけとばしました。

するとともだちは、

「いたいッ。」

とさけんでとびあがりました。

「そオらみる、それがぼくのあしだ。きみだろう、ぬすんだのは。」

「この②とんまめが。」

ともだちの馬は力いっぱいけかえしました。

しびれがもうなおっていたので、その馬も、

「いたいッ。」

と、とびあがりました。

そして、やっこのことで、じぶんのあしはぬすまれたのではなく、しびれていたのだとわかりました。

*①くしゃめ…くしゃみ

*②とんま…まぬけなこと

(新見南吉「あし」より)

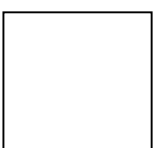
(1) 「そのあし」とは、何をさしていますか。次の1から4までの中から一つ選び、その番号を書きましょう。**レベル4・5**

- 1 いすのあし
- 2 ひきの馬のあし
- 3 ぼくのあし
- 4 ベッドのあし



(2) ともだちの馬に自分のあしをけられて、どんなことがわかったのですか。次の1から3までの中から一つ選び、その番号を書きましょう。**レベル4・5**

- 1 自分の足はぬすまれたのではなく、しびれていたのだということ。
- 2 自分のあしをぬすんだのは、ともだちだったということ。
- 3 自分のあしはぬすまれたのではなく、いすのあしと入れかわっていたということ。



埼玉県立学習支援センター



復習シート 第四学年 国語

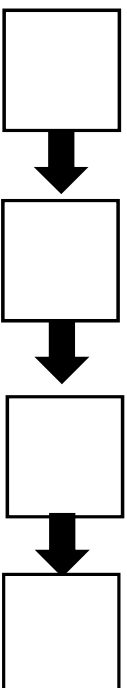


組	番号	名前
---	----	----

【国語辞典に出てくる順に言葉を並びかえる問題】 **レベル6・7**

1 次の1～4の言葉を国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましょう。

- 1 ふうせん
- 2 プール
- 3 ふうりん
- 4 ふるさと



【反対の意味の言葉・似ている意味の言葉を書く問題】 **レベル1～3**

2 次の——言葉と反対の意味の言葉、似ている意味の言葉を書きましょう。

1 とびらをあげる。



とびらを

【反対の意味】

2 両チームのとく点は等しい。



両チームのとく点は

【似ている意味】

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】 **レベル4・5**

3 次の文章の——のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの1～4の中から

それぞれ一つ選びましょう。

①夏休みに、読書カ|ン想文を書いた。

- 1 寒
- 2 漢
- 3 感
- 4 館

②わたしの兄は、野キ|ユウ部に入っています。

- 1 究
- 2 級
- 3 急
- 4 球

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

【文中の主語、述語にあたるものを選択する問題】 **レベル6・7**

① 次の文の主語、述語を——線部1～4の中からそれぞれ選びましょう。

(1) 今日、ぼくも 六時に 起きた。

主語	<input type="checkbox"/>
述語	<input type="checkbox"/>

(2) ぞうが 赤い りんごを 食べた。

主語	<input type="checkbox"/>
述語	<input type="checkbox"/>

【文中の修飾語にあたるものを選択する問題】 **レベル6・7**

② 次の文の修飾語を——線部1～3の中からそれぞれ選びましょう。

(1) 黄色い チューリップが さいた。

(2) 星が きらきら 光っている。

【漢字の部首を選択する問題】 **レベル4・5**

② 次の(1) (2)の漢字の「へん」を書きましよう。また、その「へんの名前」を
あとの1～4の中からそれぞれ一つ選びましよう。

(1) 持 へん

へんの名前

(2) 港 へん

へんの名前

1 たけかんむり	2 にんべん	3 てへん	4 さんずい
----------	--------	-------	--------